

YWVOB会 会報 No.30

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

2005年9月10日発行

～ 30号の目次 ～

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| ・ 2006年年度総会の開催について 1 | ・ 期別便り (35期) 6 |
| ・ OB会費納入のお願い 1 | ・ 自由投稿 7 |
| ・ YWVOB会ホームページの開設 2 | ・ 会報の発送方法について 9 |
| ・ OB山行のご案内 5 | ・ たずねびと 10 |

■ 2006年度OB総会の開催について

OB会会長 嘉納秀明(1期)

2006年度総会は母校の常磐祭(11月4日(金)、5日(土)6日(日)午前中)の一日に開催することとなりました。皆様には奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

[日 程] 11月5日(土) 14:00～16:30 (13:30受付開始)

[場 所] 横浜国立大学 常盤祭 YWV 控え室 教育棟 7-308

[議 題]

1. 新会員
2. 役員人事
3. 2005年度決算
4. 2006年度予算
5. 2006年度活動
6. 50周年記念事業
7. その他

■ OB会費納入のお願い

会計幹事 吉野大次郎(2期)

会報30号に同封いたしました払込取扱票は、2006年度年会費、前納会費、寄付等をお振込みいただく用紙です。取扱いは郵便局です。大きい局のATMは夜間、土日も取り扱っております。お早目にお振込下さい。

- ・ 年 会 費：2,000円(05年10月から06年9月までの2006年度の年会費)
(宛名ラベルに「今年度会費は納入済」という表示がある方は納入不要です)
- ・ 前 納 会 費：10,000円(2006年度～2011年度の6年間の年会費前納分)
- ・ 最新名簿代金：500円(郵送希望者のみ)

払込取扱票を紛失した場合は、郵便局で用紙を貰い、下記口座番号と加入者名を記入してお振込ください。

口座番号:00290-3-2419

加入者名:横浜国立大学ワンダーフォーゲルOB会

■ YWVOB会ホームページの開設!

会長 嘉納秀明(1期)

前号でお伝えしましたように、50周年を迎え、過去50年の歴史を物語る各種データの集積が必要になりました。このような資料は会員の方たちがそれぞれ保存されているものと思われませんが、日の目を見ずに死蔵されているものも多くあり、いつか必要となる日があると保存されている方もかなりおられると思われます。50周年を契機として、これらの資料をあるべき姿にして陳列、展示する記念碑的场所を作り、そこに納入することももっとも良いのではないかと考えられます。これは50周年記念誌の発行という最終的姿をとるものと考えられますが、その制作には、資料の提供、編集が必要となります。これを会員全員で行うとなると全工程を公開しつつ行うことがもっとも良いと考えられました。これに適しているのがホームページであります。

1. ホームページ開設の目的と公開の範囲

ホームページには、本来いろいろな用途があり得ますが、本会での今回の開設の目的は「50周年に向けた各種資料の集約の手段」であります。そして公開の範囲を「YWVOB会会員」に限定します。公開の限定は、会員のプライバシーの保護、セキュリティの確保のために是非必要と考えられました。ですから会員の皆様におかれましては、このホームページのアドレスを会員以外に漏らさないようにして下さい。もちろん、外部からリンクを張ることもしないで下さい。その代わり、パスワードは使っておりません。ホームページ内はどこでも見て回ることができます。

ホームページアドレスは <http://hw001.gate01.com/hkanoh/index.htm> です。

2. ホームページの運用

ホームページ全体が一冊の記念誌という本であるとお考え下さい。それは、章、節、小節からなっています。それらを独立に分散して作り上げ、リンクを張ってつなぎ、巨大な本を仕上げようという構想です。そして会員の皆様に章や節あるいは小節を受け持って頂きそれを集大成しようとするものです。たとえば、次のような項目が考えられます。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 表紙・目次 | 3. O B会の歴史 |
| 2. ワンダーフォーゲル部の歴史 | 3. 1 月例山行 (記録・映像) |
| 2. 1 ワンダリング (記録・映像) | 3. 2 運営 (総会・O B会報) |
| 2. 2 合宿 (記録・映像) | 3. 3 シニアの集い (記録・映像) |
| 2. 3 スカイライン発行 | 4. 苗名小屋 |
| 2. 4 遭難 (記録・回想) | 4. 1 建設経緯 |
| 2. 5 他大学との連携 (記録・映像) | 4. 2 小屋日記 |

3. イニシャルプランとして作成したホームページ

このような項目をホームページとして表すために、「O B会活動」、「苗名小屋」、「シニア O Bの集い」、「スカイライン」、「会員サロン」、「関西支部」、「歴史資料館」、「映像館」、「50周年行事」、というページを作りました。この他、リンクとして「現役YWV」、「横浜国立大学」とその他関連の「リンク」というページを用意し、表紙(基幹)ページから上記各ページにリンクを張る構造を用意しました。現時点ではとりあえず4人のサイトをリンクしています。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 基幹ページ 表紙と目次 | 担当 嘉納秀明 (1) |
| 2. 苗名小屋ページ | 担当 親跡冬樹 (34) |

- | | |
|----------------|--------------|
| 3. 会員サロン内各期ページ | 担当 大黒美代子 (4) |
| 4. 映像館ページ | 担当 谷上俊三 (4) |
| 5. その他ページ | 担当 (暫定的に嘉納) |

4. ホームページの制作方法

上述の初期的なホームページを拡大して、目的の 50 周年記念碑を作り上げるには、皆様に制作に参加して頂かなくてはなりません。まず第一に、莫大な**メモリ空間**が必要になるということです。この点に関して、皆様をお願いしたいことがあります。皆様はほとんど全員、どこかのプロバイダに加入されて、メールをお使いになっておられますが、その基本料金のサービスの中にホームページ開設用に 20M位のメモリの使用も入っているのが通例です。しかも多くの方はホームページを作られていないのが現状のようです。この遊休メモリを是非提供して頂きたいというのがお願いです。しかし、提供して頂くのはメモリだけではありません。そのメモリに素材ファイルをアップロードして頂かなくてはなりません。アップロードは使用者本人でなくてはできないからです。アップロードするには FTP というソフトが必要ですが、フリーソフトで簡単にダウンロードできます (たとえば、FFFTP という名のソフト、窓の杜などからダウンロードできる)。FTP の具体的な使用方法は、「会員サロン」の中にも説明しておりますが、皆様が加入されているプロバイダの説明書やプロバイダの会員ページにも記載されているはずですが、皆様には、**遊休メモリとそこへのアップロードのご協力**を是非お願いいたします。ご協力頂ける方並びに協力したいがその方法について相談したいという方は、嘉納宛 kanoh@isc.meiji.ac.jp ご連絡下さい。アップロードして頂く素材は、こちらからお送りする場合と皆様自ら作成という場合があります。後者の場合、ご自身で html 文を書いて頂くのが理想的ですが、不可能な場合は担当に原料をお送り下されれば html 文に加工して返送することも可能です。

5. 各期のページの作成

会員サロンのページの中に各期のページ (1 期から 50 期) を設けています。まだ、1 期と 4 期のみがアクセス可能な状態です。このページは各期でそれぞれ運営して頂きたいと考えております。したがって、原則的には各期一人はページメモリを提供しかつアップロードできるようになって頂きたくと考えております。そこに載せるのはその期が現役であった時代の活動記録と映像などです。もし、それが各期ごとに完成すれば、それを縦にリンクを張って歴史となす事ができると考えております。次のページに各期が作るべきホームページのプロトタイプファイルの例を載せておりますのでこれを参照して下さい。この文をテキストエディタで編集して、「各期」となっているところをご自分の期になおし、no-x.htm というファイル名で格納して下さい。インターネットができる状態でエクスプローラでこのファイルを出して、そのファイル名もしくはそのアイコンを左ダブルクリックしてみて下さい。インターネットエクスプローラが自動的に立ち上がり、写真を除いて皆さんの期のページが開くと思います。各期写真.jpg の部分を皆さんの所有する写真画像の名前に変更すれば写真も写り込みます。もしこのことに成功すれば、それを写真画像ファイルとともにアップロードすれば皆さんの期のページが出来ると言うことです。出来る方はお試し下さい。アップロードにも成功してインターネットで見られるようになったら、こちらにアドレスをお知らせ下さい。会員サロンからリンクをそのアドレスに張ります。すると OB 会ホームページにアクセスする人全員が皆さんの期のページを見ることが出来るようになります。

6. 運営体制

ホームページの運営は今後いろいろな問題に直面することになると思われまますので、その解決にはホームページ委員会 (仮称) を形成して協議しつつ対処してゆくべきであり、総会での承認

をえて発足すべきものと考えております。多くの知恵が必要ですので、運営に参加できる方は是非ともお申し出下さい。

7. 情報伝達としての用途

これまで過去のデータの蓄積というホームページの一側面を強調してお話しして参りましたが、ホームページの重要な用途として情報の伝達があり、このホームページにおいても、各種催しのお知らせなどにも積極的に使用してゆくことになるものと思われます。また双方向の情報伝達として、会員サロンに「ワンダラーの談話室」と言う掲示板、苗名小屋ページの「オンライン小屋日誌」などが設けられ皆様が書き込みができるようになっております。今後、OB山行、総会などの参加申し込みなどにも使用できるよう検討を進めたく思っております。

8. 開設支援

ホームページを開設したいがその方法が分からない有志の方には講習会を開催することも考えております。メールをしている人なら2時間程度の講習で一応簡単なホームページを開けるようになります。ご希望がありましたらご連絡下さい。

9. 各期のページのための参考文型

```
<!-- 各期ホームページ --!>
<HTML><HEAD></HEAD>
<BODY bgcolor="rgb(217,247,220)" text="#880000">
<!-- ホームページに戻る --!>
<DIV style="position:absolute; top:50px; left:27px; width:61px; height:60px">
  <A href="http://hw001.gate01.com/hkanoh/index.htm" target="_top">
    <IMG src="http://hw001.gate01.com/hkanoh/index.htm/fig/tohome.gif"
      width="60" height="60" alt="ホームへ" border="0"></A>
</DIV>
<DIV style="position:absolute; top:87px; left:327px; width:461px; height:60px">
<h1>各期のページ</h1>
</DIV>
<!-- 各期写真 --!>
<DIV style="POSITION:relative; left:68px; top:150px; width:563px; height:571px">
<IMG src="各期写真.jpg" width="700" height="600" border="0"></DIV>
<!-- 写真の題 --!>
<DIV style="POSITION:relative; top:115px; left:180px; width:250px; height:19px">
<FONT size="3" color="#FFFFFF" > 各期同窓会にて 2001年2月19日</FONT>
</DIV>
<!-- 会員サロンに戻る --!>
<DIV style="POSITION:relative; top:130px; left:100px; width:150px; height:19px">
<BR><FONT size="3" color="#000000" >
会員サロンへ<A href="http://hw001.gate01.com/hkanoh/Member/saloon.htm"
target="_top">戻る</A></FONT><BR>
</DIV></BODY></HTML>
```

OB山行のご案内（第14回：湯ノ丸山・烏帽子岳、第15回：大菩薩嶺）

OB山行委員長 小野恵美子（34期）

お知らせが大変遅くなりましたが、以降のOB山行についてご案内いたします。じわじわと常連さんを増やしているOB山行であります。皆様お誘いあわせの上どしどしご参加ください。特に初参加の方大歓迎です。健脚自慢の方も、山登りは数（十）年振りという方も、のんびり賑やかな休日の山歩きをご一緒に楽しみましょう。

● 第14回 湯ノ丸山・烏帽子岳

〔日程〕 2005年10月 1日（土）

〔行先〕 湯ノ丸山（2,101m）、烏帽子岳（2,065.6m）

〔地図〕 昭文社山と高原地図「19 軽井沢・浅間」

〔集合〕 JR佐久平駅 9時30分

※マイカーでお越しいただける方はお申し込みの際その旨ご連絡ください。

〔交通〕 長野新幹線 あさま553号 東京駅7:52～佐久平駅9:24

〔行程〕 佐久平駅＝（マイカーまたはタクシー分乗）＝地蔵峠（10:30頃）——
つつじ平——湯ノ丸山（南峰・北峰）——烏帽子岳鞍部⇔烏帽子岳ピストン
——湯ノ丸キャンプ場——地蔵峠（15:00頃） [歩程約3時間]

〔参加費〕 500円（写真代等）

〔持ち物〕 昼食、水、おやつ、雨具、防寒具、その他登山に必要な物

〔温泉〕 あぐりの湯こもろ（500円）等あり。下山後ご希望の方はご用意を。

〔申込み〕 参加ご希望の方は9月25日頃までに下記のいずれかにご連絡ください。

吉野大次郎（2期）電話：090-6485-9268 メール：yoshino@r07.itscom.net

小野恵美子（34期）電話：080-5517-7320 メール：emiko150@s9.dion.ne.jp



● 第15回 大菩薩嶺〈日本百名山〉

〔日程〕 2005年12月10日（土）

〔行先〕 大菩薩嶺（2,057.9m）

〔地図〕 昭文社山と高原地図「24 大菩薩嶺」

〔集合〕 JR塩山駅 9時00分

※マイカーでお越しいただける方はお申し込みの際その旨ご連絡ください。

〔交通〕 中央本線 あずさ3号 新宿駅7:30～塩山駅8:53

各停 新宿駅6:20～（高尾駅で乗り換え）～塩山駅8:58

〔行程〕 塩山駅＝（マイカーまたはタクシー分乗）＝上日川峠（9:40頃）——
福ちゃん荘——雷岩⇔大菩薩嶺ピストン——賽の河原——大菩薩峠——
福ちゃん荘——上日川峠（15:00頃） [歩程約3時間30分]

〔温泉〕 大菩薩の湯（600円）等あり。下山後ご希望の方はご用意を。

☆ 参加費、持ち物、お申し込み先は第14回と同様です。参加ご希望の方は11月末日頃までにご連絡ください。



■ 期別便り（35期）

吉田啓史（35期）

それぞれの事情で年は前後するが、35期の学部卒業からおおよそ10年が過ぎた。「光陰矢のごとし」、そんな言葉を、実感を持って語れるようになってきた。35期もそんなお年頃である。この原稿のため久しぶりに各人に連絡を取ってみたが、皆概ね元気、そして仕事や育児にヒーヒー言わされながら日々を生き抜いている、ざっとそんな感じである。ここ数年、前後の期もベビーブームであり、話題はもっぱら山より子育て、そんなファンシーなお年頃でもある。

福島龍三郎：佐賀県大和町在住。作業所（授産施設）を運営している。子供は紘一君（こういち・H11.1月生）、李ちゃん（もも・H15.9月生）の2人。家族で低山の山行も行っているとのこと。

土方康裕：さいたま市・日進在住。JR 東日本勤務。百億、千億の単位の仕事で、毎日エクセルとパワーポイント漬けという。子供は章誠君（あきまさ・H16.8月生）。仕事、仕事で家族との時間が思うように取れないのが悩みのようだ。

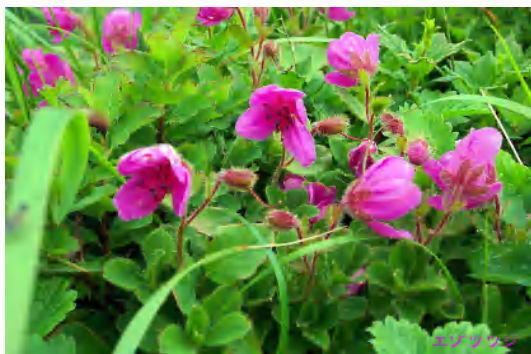
曽根康博：市川市在住。岡三証券勤務。涼太郎君（りょうたろう・H15.1月生）、萌萌菜ちゃん（ももな・H16.4月生）の2人の子供。休日は家族と買物したり遊びに行ったり。今度八ヶ岳まで足を伸ばしてみたい、とのこと。

富沢理子：横浜市神奈川区在住。横浜市職員。今年の5月に育児休業から復帰し、浦島太郎状態で奮闘中。里緒ちゃん（りお・H15.10月生）を背負って低山に行くこともあり、とか。

吉田啓史：福岡市在住。税理士事務所勤務。麟太郎（H14.10月生）、龍斗（りゅうと・H17.2月生）の子供2人。税理士資格は未だ取れず煮詰まっている。最近は山よりも畑（竹林）の開墾でストレス解消している。

大隅邦臣（故人）：昨年の12月で7年目である。実家のお兄さんの所に赤ちゃんが誕生、瑞騎君（みずき・H16.1月）。「大隅に似て骨太・ガッシリしている。」とは龍三郎の談。

（ほか渡辺浩志、越智久美子は、今回連絡が取れなかったが、他の部員とやりとりはしているようである。）以上、35期の近況便りでした。育児が一段落したら、一堂に会したいものだ。



エゾツツジ



ミネウスユキソウ

5年前初めてスイスへ行きツェルマットの公園で偶然出会ったアルプホルンは小鳥の鳴き声や道行く馬車の鈴の音、人のざわめき、遠く聞こえるカウベルとさまざまな音色に囲まれながら一段と輝いて響きました。私にも吹けないだろうか……。長年の思いを達成しさらにつぎへと進んでいます。

今年1月、神奈川県厚木市に間伐材からアルプホルンを自作し演奏するクラブがあることを知り、居ても立ってもいられず活動現場に飛び込んで即日入部してしまいました。まずもらったのが材料の桧材。これをアルプホルンに仕立てるのですが、昨年までは1~2年掛かったそうです。幸いにして今年からはNCで削りだしているの頑張れば2ヶ月で出来上がります。私は3月に完成し4月より演奏の練習に入りました。

このクラブの演奏活動は活発で丹澤山開きなど各種セレモニーにも招待されています。私は緑の日の日比谷公園での式典演奏を初め名古屋万博での演奏などに参加、そして今夏はスイスでのホルン研修にも参加しました。初心者がなぜ演奏会やスイスでの研修に参加？と不思議に思われるでしょうがそこがホルンの良いところ、アルプホルンはドミソが基本音階なので初心者でも音を出してさえいればハモルのです。

今回のスイスは旅行というより研修が主目的でしたから、観光ははじめの数日間ツェルマットとエンゲルベルクに行っただけです。しかもホルンはいつも持ち歩いて良い所を見つけては演奏します。マッターホルンを背景にアルプホルンを吹いている右の写真は私です。夜、レストランで食事した後はホルンやエルガリー（アコーディオンの小型版）をそこで演奏し、踊りまで披露しました。私はビギナーですからさすがに演奏はしませんでした。でも、ダンスに借り出され汗びっしょりでした。



マッターホルンを背景にアルプホルンを吹く筆者

この数日間の観光旅行？の後研修に入りました。研修を開催した所はルツェルンの東40kmのウンターイベルク（写真：研修のあった村）という小さな綺麗な村です。研修期間は5日間、朝



研修のあった村

9時から夜23時まで。午前中はホルンの演奏訓練、午後と夜は選択科目の受講。私は、ヨーデル、旗振り、鞭打ちに挑戦、それからベースも少しやってみました。最終日の金曜夜には村の人たちを集めて研修発表会と言う具合でした。

研修は必ずしも教室内でやるばかりではありません。先生のご両親が居られるアルプの放牧小屋に村のバスをチャーターして登って、その小屋周辺でカウベルをバックにしながホルン吹奏やヨーデル合唱を研修しました。バスは小屋の100mほど手前に止めていたのですが、バスの運転手さんがヨーデルを歌いながら下りてきて、これに私ど

ものヨーデルの先生が応えるように歌いだし、なんともアルプ気分満開で涙が出ました。スイス音楽の情感に十分に浸るという経験が出来て気分は最高でした。

発表会では私はホルンの初心者 Gr で簡単な曲を披露、そして旗振り、ヨーデル合唱に出演、旗振りでは途中ふらついて笑いを取っていました。この研修活動はスイスの新聞をにぎわしテレビで放映されて発表会にはわざわざチューリッヒやルツェルンから聞きに来てくれた人もいました。下手でもスイス音楽を必死に学ぼうとした気持ちに大歓迎というところでしょうか。

発表会の翌日、自由時間を使って近くの山に行き記念撮影。写真の旗は私が訓練を受けていたときに使っていた旗で自分のものとして購入してしまいました。今この旗を使って特訓中です。少々心細いのですがクラブでは私が旗振り主任です。

こんなアルプホルン他初心者ですが度胸をつけるため近くの公園で人前でやり始めています。ホルンは毎日、旗は風の無い日に、木こりのマーチの踊りは音楽をテープで流して特訓中です。今は恥ずかしさは後回しにして10月の演奏会に向けて汗を流しています。

今年末または新年にクラブの演奏会を開催する予定です。興味のある方は是非聞きに来てください。けっこう楽しめる演奏会になると思います。



ヨーデルを歌いながら降りてきた
バスの運転手さんと迎える小屋のご主人



アルプで集うホルンの先生と家族



ホッホイーブリック山頂で記念撮影

■ 会報の発送方法について（再告知）

副幹事長兼編集委員長 田村 顕洋（34期）

経費節減のため会費未納会員への会報発送の一部取り止めを行うという、新しい会報発送方法につきましては、本年2月発行の会報 No.28にてお知らせを行い、基本的に会報 No.29からこの新方法が適用されています。

新方法においても会費納入の有無に関わらず、年一回は総会案内とともに全員を対象に会報を発送することとしており、今回の No.30 が該当号となります。

この機会に、改めてこの新方法を下記のとおりお知らせいたしますので、ご理解及び会費納入にご協力いただきますよう、あらためてお願いいたします。

《 会 報 の 発 送 方 法 》

1. 過去5年間会費納入の実績が把握できない会員（入会后10年以下の会員を除く）については、総会案内号を除き会報の発送を停止します。
 2. 電子会報を入手できるので会報の郵送は不要である旨申告いただいたOB会員の方には、総会案内号を除き会報の発送を停止させていただきます。
- ※ いずれの場合も、会費振込用紙及び総会出欠ハガキを同封する号（総会案内号）は、会員全員を対象に発送します。

過去5年(2001-2005年)の会費未納会員リスト(敬称略)

05.8.15現在

1 河野 哲	12 山下 久男	20 滝本 敦子	25 浜崎 信行
3 高橋 俊吾	13 竹村 昇	20 玉木 慎二	26 千田 善浩
3 栗田 武寿郎	13 吉里 和美	20 古橋 初美	26 高島 淳
4 牧原 洋	13 小沢 陽子	20 古橋 達行	26 水島 貴志
5 蓑浦 英一	14 日野 博文	20 増田 敬子	27 遠藤 勝也
5 小玉 信彦	14 水本 靖子	20 水田 徹	27 遠藤 幹
6 清水 宣次郎	16 岩田 達志	20 安武 和俊	28 梅田 祥司
6 柳原 隆夫	16 内山 誠	21 岩崎 泰夫	28 大庭 也寸志
6 久野 秀晴	16 三好 正幸	21 籠橋 泰憲	28 楠本 なぎさ
6 斉藤 治重	17 梅野 匡俊	21 河辺 直子	28 久米 一弘
6 岡本 次郎	17 川俣 道夫	21 山崎 俊夫	28 直井 忍
8 武藤 直子	17 武田 治久	22 浅沼 芳弘	28 直井 朋子
8 楠 静子	17 蛭川 欽也	22 谷内 佳子	28 芳賀 剛志
8 秦 郡次郎	17 松本 茂夫	22 山本 為朝	28 和井田 基房
8 小谷 昌男	17 村山 保之	22 渡辺 清子	29 木虎 正和
9 天笠 宏道	18 鈴木 栄	23 桶田 浩志	29 小寺 慶康
9 近藤 元恵	18 伊達 誠一	23 加藤 英二	29 舟本 昌弘
9 松川 靖	18 壺井 久雄	23 木村 真行	29 山本 博之
9 梶野 美智子	18 福田 敦子	23 仙名 英資	30 岡島 準
9 塚本 富造	18 渡部 孝	23 高山 昭彦	30 服部 宣久
9 山懸 信義	19 磯尾 典男	23 中戸 康文	30 藤田 昌幸
9 寺本 則登	19 井上 晃	23 武藤 秀二	30 宮崎 英樹
9 一村 健次郎	19 高木 幸子	23 吉田 剛	31 岡野 正彦
10 関 政彦	19 高松 仁子	23 吉田 豊	31 久保 哲博
10 村田 尚雄	19 富田 博之	24 岡田 雅代	31 増田 高康
10 山崎 重信	20 石垣 秀敏	24 酒井 文隆	32 宮崎 徹
10 大塚 正夫	20 板倉 欽也	24 津留 賢治	32 八重尾 俊之
10 原 智恵子	20 太田 信幸	24 丸山 活輝	33 河上 力哉
11 丸山 純	20 太田 真弓	25 高橋 道子	33 鈴木 秀治
11 石橋 泰祐	20 大村 貞良	25 竹内 和俊	34 古平 暁子
11 稗田 省三	20 岡本 健	25 手塚 正志	34 宮本 薫
12 岡戸 秀夫	20 下村 厚志	25 野呂 敬子	35 山本 晶貴

※ 36期以下の若手会員については除いています。

128

